

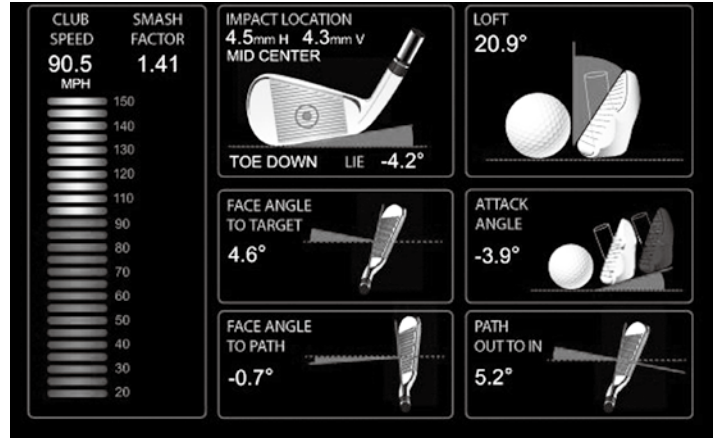


ゴルフに 意義あり!

クラブフィッティング

やっと春らしくなってきました。今年の冬は長かったですね。私も今年初のラウンドを今か今かと楽しみにしているひとりで。そこで、その前にクラブフィッティングに行ってきました。いつもお世話になっているカーブプロに、アイアンのフィッティングをお願いしました。

フィッティングの予約は1時間。まず、現在のゴルフゲーム、ミスショットの傾向、今後のゴルフの目標などについて話しながらスタートしました。こういった会話は大切です。問題点や改善点がわかり、どのようなタイプのアイアン(例えば、ボールが上がりやすく飛距離の出るforgivingタイプ、またはブロなどが好んで使うplayerタイプなど)が必要なのかわかります。また、メーカーやヘッドの形状の好みなどもありますから、こういった会話

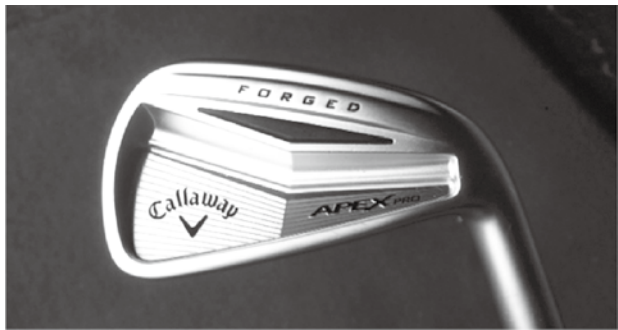


の中から、ある程度アイアンモデルが絞られてきます。私は「アイアンの飛距離は現状のままがいいが、5番・6番アイアンの飛距離が安定しない」と相談したところ、Callaway社のApex Proをすすめられました。

そして、次にシャフト選びです。最初に計測したのがShaft Load [1]です。これを元に、シャフトの硬さの目安を見つけることができます。ヘッドスピードが速いから硬いシャフト、または遅いから柔らかいシャフトが合うと思っ

ていましたが、違うようです。あくまでも、どれだけシャフトに負荷をかけているかということが大切のようです。私はアマチュアの中ではヘッドスピードは速い方ですが、シャフトの負荷値は低いということ、柔らかめのSシャフトぐらいが良いと判断されました。

このデータを元にApex Proのヘッドと5〜6本の異なるシャフトを持ってきてくれました。カチャカチャカチャとその場で組み立ててくれ、「はい、打ってみて」と渡されて早速打ってみると「ガーン!」全くボールに当たらないのです。



いくシーズン初めとは言え、ここまで下手だったとは...と悲しんでいる私に、カーブプロは「やっぱりね」と一言。私が打っていたのはライ角が2度フラットのヘッド。そしてコンピュータ上でインパクト時のToe Down (ライ角) [2]値を見てみると、6度もフラットになっていました。これでは、ボールに当たるはずもありません。ライ角が標準値のヘッドに変えて打つと、「スバーン」と当たり安心。ライ角って本当に大切。カーブプロ曰く、「インパクト時のライ角が合っていないとボールが右にも左にも飛ばし、高低差も安定しない。さらには、そうしたクラブで練習すると、スイングが悪くなる」とのことでした。

さてライ角が決まったところで、ここからフィッティングの真骨頂です。最新の機械を使ってAttack Angle [3]、Toe Down Effect、Dynamic Loft [4]をシャフトを変えながらひとつひとつ

計測していきます。こうした機械を使うと、シャフトによってヘッドの挙動が変わってくるのが一目瞭然とわかります。それによって、ボールのスピニング量、打ち出し角、方向、距離なども影響されるとのことです。最後に、測定結果が良かった2本のシャフトから自分の感覚にあった一本を選びました。面白いもので最新の機器を使い細かな測定値を出しても、最後は感覚で選ぶものなんだなと思いました。今年の相棒は、Apex ProにModus 3のSという組み合わせになりました。あー、早くゴルフコースで打ってみたい!

脚注

[1]Shaft Load: スイング中にシャフトにかかる加重

[2]Toe Down Effect: 遠心力により、スイング中にライ角がフラットになる影響

[3]Attack Angle: 垂直に対しクラブヘッドがインパクト時に動く値

[4]Dynamic Loft: インパクト時のロフト角

今回お世話になったのは、ゴルフダイジェスト社のトップ100クラブフィッターにも選ばれているPete's Golfというフィッティング専門店。最新のクラブフィッティングをしてみたい方は、このようなフィッティング専門店に足を運ばれることをおすすめします。

516-248-6891
info@PetesGolf.com
www.petesgolf.com

Biography 高田洋平

DPT, CFMT, OCS, SCS, CSCS
ゴルフを中心としたスポーツリハビリを学ぶため、渡米。コロンビア大学でDoctor of Physical Therapy (理学療法士)を取得。コロンビア大学病院、Montefiore Medical Centerで外来リハビリを担当。現在、Func-Physiotherapyのオーナー。ゴルフリハビリの資格 TPI (Titleist Performance Institute) Medical Profession-Level III
連絡先 / yt@funcphysio.com